

# 東部第一各校事務職員不定期日記(21/7/17 掲載)

## 7月15日 7/6記事その後

前回、図工室の壁から床への雨漏りの件を載せました。これは校舎の西壁面のRC（鉄筋コンクリート）のクラックのためとレポートしておりました。

この貫通クラックとエアクラックの補修を『自動式低圧樹脂注入法(ボンドシリンダー一工法)』によって補修を行いましたので、報告いたします。

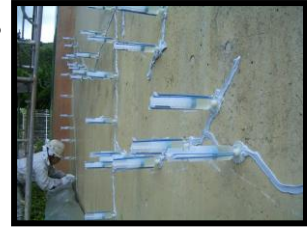


【以下は、その施工方法です】



①下地処理・・・ディスクサンダーなどでシール材塗布予定部分を研磨し健全な面を出します。

②座金取付シール材塗布・・・注入座金をひび割れの中心に取り付け、ひび割れのその他の部分をシール材で確実にシールする。

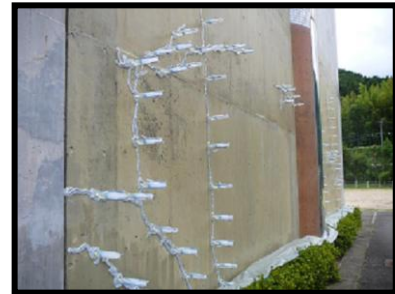


③ボンド注入・・・シール材硬化後ボンドシリンダーを用いて注入作業を行う。ボンドシリンダーを座金に取り付けた後、加圧ゴムをセットしボンドをひび割れに注入する。

④シール材除去・・・注入座金をはずし、シール材をディスクサンダーで除去しコンクリート部分を平坦化する。

⑤仕上げ・・・全体に防水下処理剤を塗り、その上から仕上げコンクリートを塗る。

クラックによるRC壁面からの雨漏りの場合、この自動式低圧樹脂注入工法による下処理をしてから全体に防水塗装をする工法を行えば、より確実に水が止まります。皆様の参考になればと思いレポートしました。



作業終了